

# 第6学年 社会科学学習指導案

## 1 小単元名

「江戸幕府と政治の安定」

## 2 小単元の目標

- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸時代の始まり、参勤交代や鎖国などの江戸幕府の政策、身分制を理解することができる。(知識・技能)
- 江戸時代の始まり、参勤交代や鎖国などの江戸幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、政策の意図や社会の様子を考え、適切に表現することができる。(思考・判断・表現)
- 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの江戸幕府の政策、身分制について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。(主体的に取り組む態度)

## 3 単元構成の意図

本学級は男子18人、女子18人、計36人(特別支援学級の交流児童男子2人、女子1人を含む)の学級である。本学級には新たな社会的事象について知ることに関心をもっている児童が多く、歴史の学習を「好き」という児童が約70%、「楽しい」という児童が約80%である。それに対し、「難しい」と感じている児童は約70%、「役に立つ」と感じている児童は約50%である。また、江戸時代については、「武士」「刀」「戦」等のイメージがあるが、その他のことは知らないという児童がほとんどである。調べ学習では、簡単な文章資料から必要な情報を見つけることはできるが、絵や写真資料、地図、年表等の資料の読み取りは苦手としている。また、読み取ったことをもとに自分の考えや判断をまとめたり、表現したりすることに苦手意識をもっている児童が多い。

本小単元は、江戸幕府による様々な政策や、身分制について調べ理解することを通して、武士による政治が安定したことを理解できるようにすることがねらいである。文化財や地図、年表など様々な資料から、幕府の政策の意図について考えることができる単元である。

いろいろな資料から幕府の政策の意図について考えさせるとともに、その政策が与えた影響を幕府や大名、民衆など、いろいろな立場から考える活動を取り入れることで、多角的に考え、判断する力を身に付けさせたい。

## 4 単元の計画(総時数6時間)

時 場 面	学習活動(夢中に学んでいる姿)	資質・能力
1 見通す	江戸幕府が250年以上も続いたことに疑問をもち予想を出し合う。	疑問や予想を出し合い、課題解決に向けて取り組もうとしている。(主)思
2 習得する	武家諸法度や江戸城の図などから徳川家光がどのようにして幕府の権力を確立したのかを調べる。	必要な情報を読み取り、江戸幕府による大名統制の仕組みについて理解することができる。(知・技)
3 習得する 考える	参勤交代について調べ、江戸幕府がどのように大名を統制していったかを考える。	必要な情報を読み取り、参勤交代の目的と大名への影響について理解することができる。(技)思
4 習得する 考える	身分制と人々の暮らしについて調べ、江戸幕府がどのように人々を治めたかを考える。	必要な情報を読み取り、江戸時代の身分制度と人々の暮らしについて調べ、江戸幕府の取り組みの目的について考えることができる。(技)思
5 本時 考える 対話する	キリスト教の禁止や鎖国について調べ、その影響について考え、話し合う。	キリスト教禁止の意味や鎖国のもとでの外国との関係について調べ、その影響について話し合うことができる。(思・表)
6 振り返る	江戸幕府の政治について様々な人々の立場に立って表現する。	江戸幕府の政治と様々な立場の人々の思いを関連付けて表現することができる。(思・表)

小単元を通して育成したい子どもの姿

絵や写真資料、地図、年表などの様々な資料から必要な情報を読み取り、江戸幕府の政策の意図や影響についていろいろな立場から考えることで、多角的に考え判断しようとする姿。

5 本時のねらい

キリスト教の禁止や鎖国について、背景にあった出来事や世の中への影響などについて調べたり話し合ったりすることにより、江戸幕府の政策の意図を考えることができる。

6 学習過程

	学習活動・内容 (T主な発問・C児童の反応)	時間	○指導上の留意点 ◎研究主題に迫る手立て ◇評価
課題設定	<p>1 本時の学習課題をとらえる。</p> <p>(1) 日本人町の再現図や日本人町の分布図から江戸時代初期は外国との交流が盛んだったことを知る。</p> <p>(2) 「鎖国令」から、外国との交流の様子が大きく変化したことを確かめ、本時のめあてをつかむ。</p> <p>江戸幕府が鎖国をしたのはなぜだろう？</p>	10	<p>○ 日本人町の再現映像から、本時への関心を高める。</p> <p>○ 「鎖国令」の条文（「外国に行ったら死罪」）から「鎖国」とはどのようなことが簡潔にとらえることができるようにする。</p> <p>○ 交流が盛んだった頃の様子と鎖国令を対比させることで外国との交流の変化に疑問をもたせ、課題解決への意欲を高める。</p>
課題解決	<p>2 「絵踏み」「島原・天草一揆」「出島」の3つ資料を元に、鎖国の理由についてグループで話し合う。</p> <p>T:資料を見ながら、グループで考えましょう。</p> <p>C:キリシタンが一揆を起こしました。</p> <p>C:江戸幕府は「絵踏み」を行っていたので、キリスト教を禁止したかったのだと思います。</p> <p>3 江戸幕府が鎖国をした理由を全体で話し合い、鎖国の理由についてまとめる。</p> <p>T:江戸幕府は、なぜこんなにもキリスト教を禁止したかったのでしょうか？</p> <p>C:この頃、「島原・天草一揆」が起きました。江戸幕府は、キリスト教が広がると世の中が乱れると考えたのだと思います。</p> <p>C:江戸幕府よりも神への信仰を重んじるキリスト教の信者が増えると、身分制度が崩れてしまいます。</p> <p>T:オランダや中国とは貿易を続けていますね。</p> <p>C:キリスト教を広めないオランダや中国とだけ、出島で貿易を続けていました。</p> <p>C:私たちは出島について調べました。出島を作り、江戸幕府だけが貿易することができるようになりました。</p> <p>T:江戸幕府が鎖国をした理由をまとめましょう。</p> <p>C:キリスト教が広がらないようにし、身分制度によって世の中を治めようとしてきました。</p> <p>C:江戸幕府が貿易を独占し、幕府の力を高めました。</p> <p>キリスト教を禁止し、貿易を独占することで、政治を安定させるために鎖国をした。</p>	10 20	<p>○ 絵踏み、島原・天草一揆、出島についての絵と簡単な説明文を提示し、事実を確認する。</p> <p>○ 資料を限定し、調べることを精選することで、江戸幕府の意図をとらえやすくする。</p> <p>○ キリスト教を厳しく取り締まったことから、キリスト教が広まるのは江戸幕府にとって都合が悪いことであることに気付かせる。</p> <p>◎ 島原・天草一揆と鎖国政策を関連付けて考えることができるようにする。</p> <p>○ 身分制度についての意見が出なかったときは、「人はみな平等」というキリスト教の教えについて補足し、江戸幕府の身分制度と相容れないものであることに気付かせる。</p> <p>◎ グループから出された意見を他のグループの意見とつなげたり、疑問を投げかけたりすることで、鎖国をした幕府の意図について児童の考えが深まるようにする。</p> <p>○ 出島により貿易を行う場所を制限することで江戸幕府が貿易の利益を独占できたことをとらえさせる。</p> <p>◎ 鎖国によって江戸幕府の政治が安定したことを確かめ、「江戸幕府が250年も続いたのはなぜか」という単元を通した学習課題と関連について考えさせる。</p> <p>◇ 江戸幕府が鎖国した理由をキリスト教や出島と関連させてまとめている。(ノート)</p>
振り返り	<p>4 本時の学習を振り返り、鎖国について自分の考えを書く。</p> <p>C:鎖国によって江戸幕府が長続きましたのでよかったです。</p> <p>C:江戸幕府が貿易を独占したことで、大名と幕府の力の差がますます大きくなった。</p>	5	<p>◎ 江戸幕府の意図だけでなく、市民や他の大名にとっての鎖国のメリットやデメリットに触れて考えを書かせることで、多角的に考えることができるようにする。</p>

7 板書計画

